

# げんき広場

GENKI HIROBA

NO. 82  
令和4年10月発行

contents P1 「文理探究科」が誕生します!! P2~3 「学びに向かう力」を育てる P4 休日の中学校部活動の地域への移行について

## 令和5年度から県立高校5校に 「文理探究科」が誕生します!!

ふみだせ! 正解のない世界へ ~新しい大学進学アプローチ「普通科+a」~



<p><b>長崎北陽台高校</b></p> <p>SCHOOL GUIDE BOOK 2023 NAGASAKI HOKUYODAI HIGH SCHOOL 長崎北陽台高等学校 長崎県 長崎市 長崎 1-2-131</p>	<p><b>佐世保南高校</b></p> <p>SASEBO MINAMI HIGH SCHOOL 文理探究科ガイド 2023 君の好奇心を 全力で応援!</p>	<p><b>島原高校</b></p> <p>長崎県立島原高等学校 文理探究科 (2学期80名) 「深い学び」により高い進路目標を達成し、 ふるさと長崎や世界の未来を長くリーダーを育てます!</p>	<p><b>大村高校</b></p> <p>長崎県立大村高等学校 文理探究科スタート!! 自ら探し、究める力で未来を拓く ものごとを探り、究める力で社会に貢献</p>	<p><b>猶興館高校</b></p> <p>ダブルスコープ猶興館! 文理探究科案内 2022</p>
---	---	--	---	---

このQRコードから、各高校のパンフレットを見ることができます!

令和5年度に誕生する「文理探究科」では、「探究型学習」を充実させ、大学進学などの目標達成を目指します!

…でも、そもそも探究型学習って何なの?

ここでは「長崎の変」プロジェクトの猫キャラ「にゃーが」の疑問に、「勇気戦隊 フミダスンジャー」が答えてくれます!



**にゃーが** 探究型学習って何にゃ?

探究型学習とは、自分で課題を設定して、実験をしたり、調査を行ったり、参考になることを本で調べたり、専門家に聞いたりしながら、周りの人たちと協力して課題の解決に取り組む学習方法のことだよ。

**にゃーが** それは楽しそうにゃ。探究型学習をすると、どんな力がつくのかにゃ。

大学や国際機関、企業などと連携して学ぶことで、**これからの大学や社会で求められる、他の人と協力して課題に取り組む力**や、科学的な思考力、国際性を身に付けることができるよ!

**にゃーが** なるほどにゃ。ちなみに、それは高校生にとってどんないいことがあるのかにゃ。

**フミダスンジャー** 大学入試や大学に入学した後の学びに、非常に役に立つということなんだ! これからの大学入試は、学力試験の成績によって選ばれる一般入試だけではなく、高校時代に自ら取り組んだことや取組から学んだことなどが評価される入試が多く行われるようになっていくと言われているよ。

文理探究科は、そういったいろんなタイプの大学入試に対して幅広く対応している学科なんだ!

**にゃーが** でも、受検で第1志望にするのは不安だにゃ。

**フミダスンジャー** 後期選抜では、普通科との併願が可能だよ。「文理探究科」を不合格になった場合でも、「普通科」を第1志望としている受検生と、第2志望としている受検生を同じように選抜するんだ。

**にゃーが** それなら、ぜひ挑戦してもらいたいにゃ!



留学生とのディスカッション



企業と協働した商品開発・販売



大学と連携・協働した研究



海外高校への訪問

お問い合わせ  
教育庁総務課 県立学校改革推進室  
TEL: 095-894-3317 (直通)

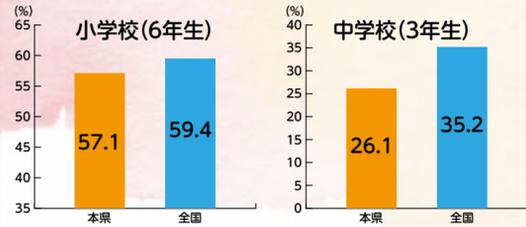
文理探究科をはじめ、県立高校の各種情報はこちらのQRコードからも見ることができます!



# 「学びに向かう力」を育てましょう ～すべての子どもの可能性をひらくために～

## 学校以外での学習時間の確保と内容の充実が必要

〔授業以外に1時間以上(中学校は2時間以上)の学習をしている(月～金)〕



令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査の結果

左のグラフからもわかるように、本県の子どもの学校以外での学習時間は全国と比べて少ない状況にあります。特に2時間以上学習する中学生の割合は、全国平均と比べて、9.1ポイントの差があります。

子どもの学力保障、学力向上のためには、学校以外での学習時間の確保と内容の充実が必要です。

## 「学びに向かう力」とは

県教育委員会では、「学びに向かう力(非認知能力)」を以下の4つに整理しています。

- 主体的に学ぶ態度
- 自分を律する力
- よりよい生活や人間関係をつくらうとする態度
- 自分を客観的に把握する力

## 未来を生きる子どもたちのために

新型コロナウイルス感染症の流行に見られるように、今の子どもたちは先行き不透明な「予測困難な時代」を生きていきます。

様々な社会の変化を乗り越え、よりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくために必要な資質・能力の一つが、「**学びに向かう力**」です。これは、「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関する資質・能力であり、あらゆる環境にある子どもの学力保障においても「**学びに向かう力**」を育成することが有効とされています。

子どもたちが「**学びに向かう力**」を高めていくためには、授業において主体的に学ぼうとする力を身に付けることに加えて、自主的な家庭学習の積み重ねがとても大切です。授業とのつながりを意識した家庭学習の内容の充実や、保護者の方の励ましの声、学習しやすい環境づくり等が、子どもたちの学びを支えます。



## 学校・家庭・地域が連携し、「学びの習慣化」に取り組む



**自分で計画して学習できるようにしましょう。**  
～子どもと一緒に作る学習環境やルール～

### 〔学習環境・ルールづくりの例〕

- 早寝、早起き、朝ごはん
- メディア(ゲーム含む)の利用時間
- 学習スペースの確保  家族10分間読書
- 体験的な学習、遊びの機会の提供
- 励ましやほめ言葉 など

### 〔自主的に取り組む家庭学習の例〕

- 繰り返しが必要な練習(漢字、計算、音読)
- 予習・復習
- 読書(学習したテーマに関連した本など)
- 調べ学習  得意分野を伸ばす
- 苦手分野に挑戦 など

### 読書に親しむ

言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めるなど、様々な効果がある読書。興味のあるものや学習に関連したものなど、幅広く親しむことが大切です。



### 家庭学習時間のめやす(学習塾、読書も含む)

小学生1日平均	中学生1日平均
低学年: 30分 ～ 1時間	1年生: 2時間 ～ 2時間半
中学年: 1時間 ～ 1時間半	2年生: 2時間 ～ 2時間半
高学年: 1時間半 ～ 2時間	3年生: 2時間半 ～ 3時間

○家庭での学習時間(学習塾、読書も含む)の確保のためにも帰宅後、夕食後、早朝など、一人一人の生活リズムにあった時間帯の設定が大切です。

### AIドリルを活用する



AIドリルは、AIが子どもの理解度・進度に応じてつまづきを分析し、つまづきの原因となるポイントまでもどって学習することができます。一人一人の学力に応じた学習を進めるためにとても有効な学習道具です。

### 新聞を活用する



新聞は、知識の習得をはじめ、記事の要約や調べ学習などに、幅広く活用できます。

## 学校では

子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます。



学校では、子どもたち一人一人の意欲を高め、学びを深めるために、次のような点に力を入れています。

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 読解力の育成  ICTの活用
- 安心して学べる環境づくり  家庭学習の指導と支援



## 地域では

子どもの学習・活動の環境づくりを地域総がかりで進めます。



多様な経験や技能をもつ地域住民の協力を得て、放課後や土曜日等に学校の余裕教室や公民館等を活用して子どもの学習支援や様々な体験・交流活動を行い、地域全体で子どもを育てる環境を整えています。

学習支援については、今後も大学生や教員OB等の地域住民の協力を得て、その取組を広げていきます。



公民館を活用した地域住民による学習支援(時津町)

企業と大学生との連携によるプログラミング教室(長与町)



伝統文化に触れる活動(舞踊体験)(諫早市)

地域の合唱団による音楽活動(合唱)(小値賀町)

お問い合わせ

〈家庭・学校の学習について〉  
教育庁義務教育課 義務教育班 TEL 095-894-3373(直通)  
〈地域での子どもの学習・活動環境づくりについて〉  
教育庁生涯学習課 社会教育班 TEL 095-894-3363(直通)

# 休日の中学校部活動の地域への移行について

中学校で行われている部活動の地域移行については、長崎県においても、国の計画等を参考にしながら準備を進めているところです。本県においても少子化は深刻で、中学校生徒数の減少が加速化しています。将来的な持続可能なスポーツ活動を目指すためには、学校だけでなく地域と協力して子どもを育てることが大切になります。



## 運動部活動について

### 地域移行の目的

少子化により学校単位での部活動が困難になることが予想される中、将来にわたり長崎県の子どもたちがスポーツに親しむことができる機会を確保するためです。

### いつから?

令和5年度から令和7年度までの3年間をかけて、地域の実情に合わせて休日の部活動を地域へ移行する予定です。

### 課題は?

地域の受け入れ団体や指導者の確保が課題です。その他、さまざまな課題が考えられますが、子ども目線に立った検討を進めていきます。

### 何が変わる?

学校中心で行ってきた土日の部活動を地域の団体や指導者等が行うようになります。学校のみでなく、地域の方々と一緒に子どもを育てていきます。

### 中総体はどうなる?

令和5年度から学校単位に加えて、地域スポーツ団体等(クラブチーム)も中総体へ参加ができるようになります。参加方法については、現在、検討中です。



## 文化部活動について



休日における中学校の文化部活動の地域移行についても、国の提言を参考にしながら県の計画について検討を進めているところです。



長崎県では、離島・半島地域が多くありますので、他の地域と比べて時間を要することが見込まれますが、準備が整った市町から随時進めたいと考えております。ご理解、ご協力よろしくお願いたします。

お問い合わせ  
長崎県教育庁体育保健課  
TEL: 095-894-3393 (直通)  
長崎県教育庁学芸文化課  
TEL: 095-894-3385 (直通)

# 愛は「しま」の学校を救う! (ふるさと納税のお願い)

長崎県教育委員会では、『アイランドスクール応援プロジェクト～愛は「しま」の学校を救う～』として、離島部の県立学校での教育活動や部活動を支援するため、ふるさと納税による寄付を募集しています。

離島で学ぶ子どもたちの「安心して学べる環境」、「夢ある未来」のために皆様のご支援をお願いします!



ふるぽ



さとふる



ふるさと  
チョイス



楽天  
ふるさと納税



ふるなび



詳細は  
こちら



お問い合わせ  
長崎県教育庁総務課  
TEL: 095-894-3314 (直通)